

平成19年12月20日

保護者様

横浜市立篠原中学校  
校長 土屋 健一

## 全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

平成19年4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取り組みについてご説明します。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、生徒一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んでまいります。

地域・保護者のみなさまには、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をしていただけるようお願いいたします。

### 調査結果の概要

#### 1 教科学習状況調査結果

国語・数学結果 共通の傾向

A問題 おおむね理解しています。(全国・県平均を上回っています。)

B問題 活用する力がついています。(全国・県平均を大きく上回っています。)

国語A, 数学A ... 主として「知識」に関する問題

- ・身につけておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・理解

国語B, 数学B ... 主として「活用」に関する問題

- ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力
- ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力

よい状況と考えられる内容

指導・改善が必要と考えられる内容

#### 国語

話すこと聞くこと

話すことの内容に応じて、適切な資料を提示することができる。

書くこと

グラフから情報を読み取り、文章の結論につながるように書ける。  
手紙の後付けの適切な書き方を選択することができる。

読むこと

代表的な古典(枕草子)に親しんでいる。

言語事項

作品の展開や心情の変化に着目して朗読することができる。  
文脈に即して漢字を正しく書くことができる。(リエキ・本をカス)

#### 数学

数と式

条件に合った計算式を新たにつくることができる。  
四則を含む正の数負の数の計算をすることができる。

図形

空間での直線と直線の位置関係について理解している。

数量関係

グラフから情報を読み取り、事象に対応させて解釈できる。

## 2 質問紙調査結果

学校における指導内容、指導方法に関する取り組みや学校における人的・物的な教育条件の整備の状況及び生徒の体力・運動能力の全体的な状況に関する調査

人の気持ちができる人間になりたいと思う生徒が多い。  
新聞やニュース・世の中のいろいろなできごとに興味を持っている生徒が多い。  
学校で好きな授業があると回答した生徒の割合が高い。  
将来の夢や目標を持っていると回答した生徒の割合が低い。  
地域の行事に参加している割合が低い。  
スポーツを見たり、することが好きな生徒が全国・県平均より少ない。

## 3 質問紙調査クロス集計結果 質問紙調査の結果と教科学習状況との正答率とのかかわり

「質問紙調査」と「各教科正答率」の結果から、横浜市全体の児童生徒のクロス集計を作成しました。生徒の生活状況や意識と、学習状況の関連が確認できます。

「授業の内容がわかる」と肯定的に回答した生徒の正答率が高い。  
「朝食摂取」「適度な睡眠」など、生活のリズムができている生徒の正答率が高い。  
「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」と回答した生徒の正答率が高い。  
「新聞やテレビのニュースなどに関心がある」と回答した生徒の正答率が、特にB問題において高い。  
「人の気持ちができる人間になりたい」と回答した生徒の正答率が高く、B問題でその傾向がより顕著に見られた。

## 調査結果の活用

今回の調査の目標は学校と学校を比較したり、集団の中の個人の順位を求めたり、個人と個人を比較するものではありません。したがって、本校の具体的な数値データを示さず、学習内容（調査内容）で示すこととします。

